

令和7年度12月号 [12月15日(発行)]



東風だより

川口市立東中学校
川口市東本郷2-20-47番地
TEL 048-281-4065
特別支援学級 285-2423
さわやか相談室 281-4627
<http://www.sch.kawaguchi.saitama.jp/higashi-j/>

年の暮れ

校長 柳田 勇

寒気が日本列島をつつむことが多くなり、冬の厳しさをひしひしと感じることが多くなりました。生徒はもちろん、保護者・地域の皆様も体調管理には十分お気を付けいただきたいと存じます。

先日、7組の皆さんと科学技術館へ校外学習に行ってまいりました。朝の満員電車に苦労しながらのスタートとなりましたが、班長の指示をよく聞き、落ち着いた行動ができてきました。展示物は、どのブースも昔から未来へ続く流れがわかるものが多く、生徒たちも興味津々の様子でした。中学生らしい立ち振る舞いに成長を感じる時間でした。

さて、今年も残りわずかとなりました。この時期になると、「ゆく年くる年」を耳にすることが多くなり、自然と1年を振り返る時期でもあります。保護者・地域の皆さんにとって、この1年はどのような年だったでしょうか。生徒たちは、それぞれの学年となり、多くのことを経験しています。生徒自身はあまり実感していないかも知れませんが、私たち大人から見ると、大きく成長したことを感じるのではないのでしょうか。体格・性格・学習・体力など、どの面を捉えて成長と考えるかは人それぞれですが、子どもたちは確実に大きく成長しています。私たち大人も、子どもたちへ向ける視線を幅広く持たないと、成長の喜びを逃してしまうかもしれません。そして、昔から言われていることですが、褒めるにはタイミングがあります。子どもたちの成長に関心を向けないと、褒めるタイミングも逃してしまうかもしれません。子どもたちへタイミングよく声掛けしていくことを、日頃から心掛けていきたいものです。

生徒たちに今年はどのような年だったかを書かせたりすると、できなかったことを反省する生徒が多いように思います。また、周りの生徒と比較して、「自分はだめだなあ」と感じている生徒もいます。先述したように、生徒たちは様々に成長しています。生徒たちには、人との比較ではなく、自分との比較をしてもらいたいと思っています。小学生のときの自分、1年前の自分を振り返り、多くのことができるようになっていることに気が付いてもらいたいです。また、「だめだなあ」と感じている生徒は、できる自分がいることに気が付いているから、そのように感じるのだと思います。自分を知っているから、できる自分をイメージでき、できていない現実に反省しているのかもしれません。理想の自分を目指すきっかけは、自分を振り返ることから始まりますが、努力の継続は周囲の支えも必要です。やめてしまいたくなるようなことが日々ありますが、自分に係わる人からの声掛けやさりげない心遣いで頑張ることは、私たち大人も経験済みです。私たち大人が、子どもたちをそれぞれの立場からしっかり支えていきたいものです。

年の暮れに、御家庭でもどのような年であったかを話していただき、迎える年への心構えを子どもたちに話していただけるとありがたい次第です。よろしくお願ひ致します。